

テーマ①「子育てしやすい環境づくり」

方向性（目指す姿）

■子育て世代（20代～40代）が子育てしやすい環境
安全で安心して暮らせて、近所の繋がりが深く、教育の質が高く、介護の充実している

調査審議の経過

1. 現状把握 子育て世代が困っていること・行政への期待など

①「次世代育成支援に関するニーズ調査」②「こどもと一緒にコンサート」での
(平成21年3月) 就学前児童 3,440 票、就学児童 2,953 票 アンケート結果 (平成25年2月) 72 票

川崎市全体

【主な上位項目】

麻生区

- ・安心して遊べる場所がない
- ・子どもを遊ばせる場や機会
- ・子育て中の親同士の仲間づくり
- ・親のリフレッシュの場や機会の提供

- ・保育園がいっぱいで入所できない
- ・保育料や教育費の経済的負担が大きい
- ・いざという時に子どもを預かってくれる人がいない
- ・保育園の受け入れ定数を拡大してほしい

調査・審議テーマの絞り込み

- ①対象：未就学児の保護者
- ②テーマ：「子育て世代を支援する多様な保育」
- ③方向性：保育所外の自主的な保育活動の支援

2. 子育て支援団体（6件）及び行政へのヒアリング

- 子育て団体 ①地域子育て支援センター ②子育て自主グループ
③子育てサロン など
行政 ①こども支援室 ②児童家庭課 ③生涯学習支援課

ヒアリング結果と課題への対応

【ヒアリングから抽出した主な課題】

- ①親子で遊び、学べる場の不足
- ②子育て情報の錯綜（母親の不安感）
- ③気軽に子育て相談できる場所の不足
- ④親同士の交流ができない
- ⑤団体の活動場所が不足している ほか

抽出した課題解決の糸口として
モデル事業「あさお子育てフェスタ」を実施・検証
スローガン

「子育てするなら麻生区で」
キーワード
「安心・楽しい・助かる」

テーマ②「芸術・文化のまちづくり」

方向性（目指す姿）

■芸術・文化施策が継続的に取り組まれ、地域の芸術家や団体が点から面として連携し情報発信を図るネットワークを構築し、子どもから大人まで楽しめる
芸術・文化活動、地域の行事等に若者・子どもが参加できる

調査審議の経過

1. 調査審議方針

- 1) 第3期区民会議提言内容のフォローアップ
①文化担当官の設置 ②（仮称）麻生文化会議の設置
③川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用

2) 若者が楽しめる・住みたくなる「芸術文化のまちづくり」に向けた課題の把握

2. 第3期区民会議提言内容のフォローアップ等のためのヒアリング

- 1) 関係団体 ①麻生区文化協会 ②日本オペラ振興会 ③民藝
④麻生フィルハーモニー ⑤麻生合唱団 ⑥区内大学 など10件
2) 行政 ①市民文化室 ②川崎市文化財団 ③麻生区役所
④麻生市民館 の4件

ヒアリング結果と課題への対応

第3期区民会議提言に関して

- ①「文化担当官の設置」、「（仮称）麻生文化会議の設置」についてはいずれも原則賛同の意見であった
【課題】どこでだれが担うべきか、どのような組織とするか、担うべき業務について不明瞭→役割・業務など具体的な姿を示す必要あり
②景観条例の一部見直しについては、法改正等進められている
【課題】基準が緩和されたとしてもポスターやのぼり等の具体的な掲出の方法がわかりにくい→地域にわかりやすく申請方法等を示す必要あり

第4期区民会議の新たな課題等

- ③若者や子どもなど多くの区民が楽しめる芸術文化のまちづくり
【課題】地域では子どもと一緒に楽しめる催しがいろいろ開催されているにもかかわらず認知されていない状況→あさお子育てフェスタにて、子育て世代を対象とした地域のイベントを来場者へ紹介、アンケート等による調査
④団体が活動する上での問題点・市への要望等
【課題】防音設備のあるホールなど練習場所の確保に苦慮している。→今後設置が期待される文化担当官の役割として情報のコーディネーターとしての機能を期待する。

提言の方向性

①モデル事業「あさお子育てフェスタ」の開催・検証

開催概要

テーマ 子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～

日時 平成26年4月13日（日）10時半～15時

場所 麻生区役所、保健所予防接種ホール、レストランあさお

内容 ・大人も子どもも楽しめる「昭和音楽大学ミニコンサート」

・和光大学「みんなで歌うパネルシアター&ブラックライトシアター」

・子どもに人気の「アンパンマン映画上映会」

・子ども用品をリサイクル「フリーマーケット」

・自由に遊べるフリースペース&育児相談コーナー

・保育園・幼稚園児の作品展

・子育て支援団体、行政等の活動紹介パネル掲示 ほか

協力団体46団体（区内大学、保育園、幼稚園、自主グループ、子育てサロン、ボランティアグループなど）

検証方法

来場者アンケートの集計分析結果からフェスタの役割・効果等を検証

②芸術・文化のまちづくり関連の提言

第3期区民会議提言内容のフォローアップ

- ①文化担当官・（仮称）麻生文化会議の設置
・設置の目的、担うべき役割、活動の方向性等について提言
- ②川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用
・屋外へのポスター設置等について、申請チャート作成等による周知や、その他情報発信・活性化推進方策の検討

第4期区民会議新規提言

- ①若者や子どもなど多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり
・子育てフェスタでの取組やアンケート結果を検証し提言へ
- ②芸術・文化関連団体へのヒアリング結果から
練習場の確保や情報発信機能等、ヒアリングで得られた課題への対応等

モデル事業「あさお子育てフェスタ」検討状況

1. 企画段階（8～10月）

- ・趣旨 親子で遊べる場の提供、子育てのストレス・閉塞感を払しょく、子育て世代の交流、子育て情報の提供等
- ・内容 遊び・交流の広場、育児相談コーナー、子ども用品フリーマーケット、園児の作品展、関連団体の活動紹介
- ・実施主体 地域の多種多様な子育て関連団体
①子育て自主グループ、ボランティアグループ等 ②保育園、幼稚園 ③区と公学協働ネットワークを結ぶ6大学

2. 地域子育て関連団体へ
協力要請（11～12月）

- 各団体の活動場所を直接訪問し協力要請へ（91団体）
→45団体が協力受諾
- ・催し運営協力 21団体
- ・ポスター協力 24団体

3. 説明会開催
（1月15日）

- 参加：24団体
- ・趣旨概要の説明
- ・企画案の提案
- ・ポスター作成要領の説明

4. 第1回検討会
（2月5日）

- 参加：14団体
- ・催し内容・スケジュールの調整・決定

5. 第2回検討会
（3月4日予定）

- ・催し内容・スケジュールの最終調整

調査審議の経過と今後の進め方

- 1) 子育てフェスタの開催（4月13日）
- 2) 子育てフェスタ実施後の検証・アンケート分析（～5月）
- 3) 合同部会・勉強会（5月12日）

提言の取りまとめ